

NPO法人STANDが広島で

障がい者スポーツ体験会

障害者スポーツの普及を目指すNPO法人STAND（東京都）が、二十三日に広島都市学園大学宇品キャンパス体育館で「障がい者スポーツ体験会 in 広島」を開催、岸田文雄外務大臣が激励に駆けつけるなど飛び入りを含めて百二人が参加し、大いに盛り上がった。

同体験会は、昨年から清水建設（広島支店）中央区上八丁堀）が協賛企業となり、毎年三地域でイベントを開き、今年は広島が皮切りとなるもの。当日は、ゴールボールでロンドンパラリンピック日本代表選手として金メダ

ルを獲得した浦田理恵選手の講演会「夢への挑戦」とともに、実際にゴール



ボールの試合形式での体験会を行い、参加者はその難しさと楽しさを存分に味わっていた。

ちなみにゴールボールとは、アイシールドという目隠しをして鈴の入っ

たボールを転がし、相手ゴールに入れることで得点する障害者の球技で、パラリンピックの正式種目だ。三人が一チームとなり、ゴールライン（九呎）を守るわけだが、相手の投げたボールの鈴の音だけが頼りなのだが、勘が悪く全然違う方向を守ったり、せつかく阻止しても味方にパスする時にゴールラインに投げてしまいオンゴールになるなど見てて面白く、やっている人は本当に楽しそうだった。

2020年には「東京パラリンピック」が開催される。主催者のSTANDでは、障害者スポーツを知ってもらい、その上で応援し、更にはボランティアなどにも参加してもらいとしている。